

No 1391, BASTOS, 17 de DEZEMBRO de 1913, O PROGRESSISTA, REG. No 4695 SÃO PAULO, A.P.

バストス週報

第1391号
 昭和四十八年
 十二月十七日
 月曜日発行
 Director
 Koiti Mori
 Redator
 Shion Oda
 Rua, Pres
 Vargas, 188
 C. Post. 112
 Fone: 40
 BASTOS
 C. P.
 Annual
 Cr. #
 35.00
 Adiant.

水紋 51

暑い国のエチケツト

ひどい暑さですな。ブラジルの暑さはセッコだから、むしろ暑くないだけよろしいけど、やはりこたえますな。街を歩くときは半袖カミーズで片膝を行けば助りますが、式の時は一寸困りますよ。先日もあんな、と行っても知人の家族に不平があつて、お悔みに行き、墓地まで行ったときの猛暑に辟易した有様を手振りおかしく話すのであつた。

「白シャツに黒ネクタイ、黒の上下という礼装でしよう。故人に近い人、まあ吾々のような若手が棺を掲げて、無帽で教会から墓地まで徒歩ですわ。ただ歩くだけでも大変なのに、棺運びはしんどいですわ。流汗淋漓、汗が湯気になつて眼鏡はくもるし、首筋から背中はずとつくりました。ちと大袈裟かな。」

M氏は顔をしかめて掌でつるりと撫でた。真夏の午後三時、陽ざりの葬儀は大へんだらう。暑さもさること乍ら、その礼装がよけいに暑さを耐えがたいものにするのである。

「どうでしようかなあ。夏季中の礼装は、これを廃し、開襟シャツ、セン、グラバツタでよしとする。ただし、カミーズは白色とし、胸に黒の喪布を付けること。(葬式の場合)、こんな風に文化協会で知れ舟を出してくれんではいかなあ。」

M氏の提唱は尤もなことである。大勢の人の中で、自分ひとりだけ上衣も着ず、半袖の開襟シャツでは気がひけるであらう。長年の習慣だから、黒のネクタイ、黒の上下で、威儀を正して少々の暑さも我慢するのがエチケツトとして、皆が格好すれば、目につきやすい。今のピツビーまがいの青年なら、他人の愚態などに捉われはしないのだが、M氏は紳士だから、ひとり異端視されたくないのだから。

そんならMさん一つ、あなたの発案として「夏季礼装の省略の件」という意味の提案をして旋風を捲き起してはどうかと発破をかけてみたが、自分でどういう運動は起したかわらない風であつた。文協の力を以ってしても香典を五コソ

WAKAMOTO

百倍強力



- 弱い子に
- 消化不良に
- 食欲不振に
- 衰弱に
- タバコ酒害に
- 安産に
- 早老防止に
- 精力増進に
- ガン予防に
- 美肌に
- 胃腸強化に
- 長生きに



トとし、祝儀を十コソとときめても実行されぬ限り、パリトは着て行くだらう。吉浦氏の告別式の日は曇天で、暑くもなかつた。もし、シマツ一枚で行つて風邪でもひいたら注射代、文協で負担すとでも保証せぬ限り、パリトは着て行くだらう。

カザメントの披露宴などは、グラバツトをつけ、正装して行つてもかまわない。暑い暇なら必ず司会者が「どうぞ皆さ、ごゆっくり召し上つて下さい」と云う。そのとき率先してはらりと上衣をとれば、向い三軒両隣り必ず皆上衣をとる。中々たりした姿勢でなければ、この脱走うまくないからぬ。しかし聖市あたりの上等なレストランでは必ずグラバツタに上下正装した紳士が暑いさなか、ふうふう云い乍ら熱いソツパを吸つてゐる。正装しないといふ走がうまくない相である。由来バンケツテは公式なものであるから、極暑の中といえどもある程度の礼儀は保たないと、不愉快なものになるであらう。古老はそんな風に見えるが、近頃

の若い連中は赤シャツまがいの服装で押し並び、周囲から異物反応を示されても一向お構いなしである。彼らは、ふじ、あじとは関係なく、そういう神経なのである。ここ二十年か、二十手もたったら、どういふ異物めいた服装が会場の隅々まで溢れるようなことになるだろう。

従って暑い時の葬儀でも、上衣を脱いで着るという法律がない限り、勝手な上着をとるのもよからうし、はじめから開襟シャツ一枚で参列するしかあるまい。だが、これは不言実行だから、紳士には多少の勇氣が入用だろう。人が何んといおうと、押し通せばよい。中には、賛成の意を表して、セン、パリトの同志がふえてくるだろう。それがほんとうのエチケットとして育って行けば、ほんものであろう。

○服装に対する厳しきは、近來だいがゆるやかになつておりに、ことにマング仲間には、ヒツ、ピーススタイルが板について来ているので、次第に異物反応的な服はなくなるだろう。

あまり古い話をつい忘れていたが、私の一友人がジャワで二三年過ぎた土産話をきいたことを思い出した。

「その頃のジャワはまだ蘭領で、彼はスラバヤに住んでいたらしい。気候は極暑を通り過ぎた暑さだが、午後四時ごろになると、一天俄かにかきくもり、沛然としてスコールがやってくる。石鹸を鉢にぬりたくって待っていてスコールを浴びるその杜感、えもいわれぬという。

「そういう暑いところだから、年中シャツ一枚(半袖)お正月には日本式に雑煮を祝ひ、屠蘇を祝つても上着をきるわけではなし、葬式であろうと、宴会であろうと、半袖で押し通す。自分だけじまな、人様も皆同じだから少しもおかしくない、というところだった。

ブラジルに住んでみて、夏季はジャワ並みだろうと思うのだが、バストスあたりの気候だと冬期があまじりあるので、ジャワより変化がある。それとブラジル人の主体をなすのはポルトガル人で、文化の進んだ国民だから祖国から、生活を全部もちこんで来ているので、衣食に関する礼儀は正しい。

それがそのまゝ受け継がれているので、現在に於いてもいささか固苦しい点もあるであらう。

彼らは公式の場所では正装して汗をかき、帰宅してシユベロ口を浴びれば、それ以上ベソは極かない。

婦人の服装は夏季なら夏季向けにデザ

夜間営業

○十二月一日から、夜も店を開けておりますから、涼みがてらにお出かけください。

年末年始の御贈答用品

いろいろ入荷しております。

- 自転車・三輪車・玩具類・蓄音機・シスコ・カルトン・ネクタイ・文房具・書籍・陶磁器・日本製魔法めい針
- その他のめづらしい物も

O Estado de São Paulo BAZR POMBO

オエスタードデサンパウロ

オエスタードデサンパウロデサンパウロ紙は、一週間分は六百八十頁。ペーゾは四十綴。一年分のペーゾは二百五十以上、古新聞より安価です。本年中に御申込みの方は、前金百八十三クルセーロスです。

オエスタードデサンパウロバストス代理店
ルア アデマルデバロー

バザール守越

日本式及ブラジル式

- 墓 碑 記念 碑
- 胸 像 石 燈 籠
- 石 臼 もち 臼

石材美術彫刻類一切製作
古い墓も修埋いたします

大西石碑工場

FABRICA DE GRANITO
Av. Rio Banco, % C. Post. 23, Fone 515
ADAMANTINA (SP.)

大西文吉
郵便 二十三番
電話 五一五番

上段より下へ
インされるから、M氏のようにベソを強く心配はない。おまけに婦人が棺を昇らうやましい次第である。

糸音

故 吉浦秀次郎氏の死を悼む

真木 諭 吉

吉浦秀次郎氏は社会人類に奉仕する為めに生れたかの如き人物であった。氏はバスト入在任四十五年間を我が事の如くバスト入発展の為に働いて来られた事はバステンセの瀧く御存知の事である。氏の性格は公徳心に富み、愛情深き賢明な、聖人の如き人物であった。吉浦氏こそ我がバスト入の至宝とも言うべき人であったと思われる。

又、氏の御子息達は才能優れた傑物揃いで、兄弟睦まじく、事業はコロニア有数の大成功であり、其の上頗る孝心厚く、至れり尽せりの孝養振りであった。斯の如く無上な幸福な生活の中で八十一歳の夭寿を全うされたのであるから、氏ご自身としては、何等思い残す事は微塵もなかったと思われるのであるが、私としては、我が生命のある限り、俱に生きながらえて、相談相手となつて頂き、尚且つ愛情深き氏の御指導に預りたい念願を抱いて居たので、氏の急逝は、親兄弟を失った以上失望落胆であつた。私が吉浦氏を何故それ程御慕いするかは、次の如き関係があつたからである。今から十八年前、私が現存住んで居る吉浦家の隣りの口ツテに移転して来た時は、私達夫妻は重態の病人であつたのである。特に私は明日をも知れぬ重態で、適言状さえ所持して居たのであつた。吉浦氏から生長の家に導かれ、素賄しい御利益を頂き、二人共たちまち全快したのでありました。そして歡喜雀躍して生長の家に飛び込んだのである。だから氏は命の恩人なのである。そして氏が生長の家の会長に推されるや、会計の重任を引受け、基本金作りや会館の建設にと、手となり、足となつて働いたのである。

私が提唱したバスト入日語学校建設に共鳴され、吉田与三吉氏、小沢勇氏等と協力して、私が東京オリオンビックに訪日中遂に二十数年も途絶えていた日語学校が開始されたのである。そして二年後小沢将男氏の後を受け継いで私が会長に就任し、八年間を勤めたのである。そして、又綜合会館の建設に際しては募金員として、募金三羽鳥のお伴をして募金の寄附廻りや、収金に終始行動を共にしたのである。斯の如く苦勞を供にしたばかりでなく、隣りであるし、気がよく合ひ、話がび

つたり合うので、お互に行つたり来たりして、二時間も三時間も話し込み、時の過ぎるのを忘れて話し合ひ、語り合つたのである。斯の如き関係で、吉浦氏は私にとつて恩人であり、師であり、親友であつた。故に此の原稿を書く間も、あの事が思い浮び、このことが思い出され、再三目頭が熱くなるのである。茲に難んで裡心より哀悼を念を捧げる次第である。一九七三年十二月十一日

柔道教授

バスト入柔道々場

- 1 幼年の内から柔道を習ひました。
- 2 柔道は礼儀を重んじるスポーツです。
- 3 柔道を習つて身心の鍛練を計りましょう。



教師三段 馬欠場卯一郎

Artefatos de Arame Paulista

ガイオーラ アラメ製作所

益々好評の福瀧のガイオーラノ御法文に依り御指定通り色々製作しております。製品は出来得る限り入念に仕事を致して居ります故、多少の拘らず御用命下さる様、御願ひ申上げます。

工場、ルア・アントニオ・ジョアキン 二十五番地
シャウカラ 小林さんの向い

レナット 福瀧
電話自宅 三六九番
郵函 四十一番

死亡通知並に会葬御礼

父、吉浦秀次郎（八十一歳）儀暫く病氣療養中の処薬石効無く去る十二月七日午前七時三十分、パウルー宅にて長逝いたしました。依って遺体を一旦バストスGⅡ宅に移し、翌八日午前十時出棺、綜合会館に於いて告別式を行い、十一時バストス墓地に埋葬致しました。葬儀はバストス日伯文化協会葬として御扱いの光栄に浴しました。

右生前辱知各位に謹告申し上げ、且つ病中多くの方々が無事バウルー遺御見舞下され、御厚意ありがたく御礼申し上げます。

尚、告別式並びに葬送にあたりましては、多数御焼香賜わり、その上多大の御香料供華まで御贈与下され、誠にありがたく篤く御礼申し上げます。勝手乍ら廻礼を略し、紙上にて御礼御挨拶申し上げます。

一九七三年十二月九日

喪主 長男 吉浦 悟

妻 美代子

次男 徹朗

妻 多利子

三男 恒喜

妻 みきえ

長女 岩田 伯子

夫 喜一郎

次女 岩田 和子

夫 三和子

三女 吉浦 絹子

夫 江人

四男 吉浦 守

妻 久守

五男 雅人

妻 真子

孫 貞子

親戚代表 松下 源太

友人代表 小田 順介

友人代表 吉田 三吉

友人代表 榑原 義三

友人代表 榑原 一

急告「夢の訪日団編成」

主催 生長の家サンパウロ伝導本部

出発 七四年四月二日、メ初十二月二十四日

バリグ機 三機チャーター 全員四五〇名

旅費 一〇〇〇ドル・観光費九日間三五〇〜四〇〇ドル

滞日 六〇日間・観光九日・自由の日五〇日間

〃 二〇日間 〃 九日間 〃 十一日間

〃 二〇日間 全観光 〃 二〜三日間

〃 六〇日・二十日 観光ナシ 全自由の組

旅費取扱協定銀行 南米銀行

取扱指定旅行社 ニッポンツール社

すでに申込者三百数十名、内ブラジル人約五〇名程参加しました。ブラジル人や二世、三世の方々、又は第一線で活躍して居られる方には二十日間の訪日旅行は大変魅力です。生長の家が贈る絶好のチャンス。是非皆様へお勧めいたします。期日が迫りましたので申込が各地で殺例してあります。お問い合わせは、アベニード 18 デジューニョ 一―ル

○梶山 または
○小茂田 まて

恍惚の人

しかし昭子が当面している問題は、老人クラブの面々がいみじくも指摘したと言通り、自分は縦のものを横にせすに老妻を追い使った場面に著録してしまつた茂造のことであつた。お婆ちゃんに愛相尽かしをされてしまうと、明日から茂造を、日中は誰が面倒を見るかというところが深刻な問題となつた。昭子は悄然として、道を白く塗り変えている雪を踏んで家に帰つた。

の十年様め続いている人事問題に及んだ。別の一人が言い出した。「榊原常務のごと、知っているか」三前ばかり前に社長と正面から衝突して退社した重役のことであつた。若い時に海外支店をまわつたエリートで、敏腕な社員として、まず商社マンの理想的なコースを邁進した男だつた。「榊原さんがどうしたんだ」「雌伏して機会を狙つてると思つたら」「まあ、あれほどの人が埋れるわけはない。会社も放っておかないだろうし、こんなに国際経済がこんぐらかっさたら、先の見通しが立てられるのは榊原さんくらいじゃないのか」「とつくに政界が目をつけているだろう。誰かの有力なブレインになつていんじやないのか」「それが、さにあらずだ。僕は仲人をしてもらつているのでこの正月に年賀に行つたんだがね。胸が潰れるようだつたな」「中風か」「いや、ひどい老練ぶりなんだ。僕の名前がなかなかに出てこない。やつと出てきても違ふ名前なんだ。佐々木ですと言つた。そうそう佐々木君と言ひ直すんだが、次からは加藤君、加藤君だ。君、人事部の加藤さんだよ。顔も何も似てたんだ。

同じ頃信利は同僚たちと新橋駅の地下街に群生している飲屋を様子してまわつていた。若い頃は飲むほどに酔うほどに放歌高吟したものだ。同じ顔ぶれが集つても話す内容ががらりと一変してしまつてくる。

明治生れが全人口の三パーセントに減少しているというのに、我々の会社は未だこの三パーセント族に押さえ込まれていて、老齢化が我が社において最も顕著である。一人が和す。みんな年齢五十歳になん息どいて上がつかえていからもう一息どいてと。そのうちに話は上層部でこ

1973年11月分 バストスの気温と降雨量 株式会社 測候部

項目	気温 °C	湿度 %	最高 気温	最低 気温	降水量 mm	風向	天候	雲量
1	25.0	73	31.0	18.0	3.6	N	☁	7
2	26.0	82	26.0	19.0	0.5	W	☁	7
3	27.0	74	27.0	18.0		E	☁	
4	28.0	60	31.0	15.0		E	☁	
5	30.0	64	32.0	19.0	0.2	S	☁	
6	28.0	53	32.0	17.0		E	☁	
7	28.0	47	33.0	16.5		E	☁	
8	29.0	43	32.5	15.0		E	☁	
9	25.0	58	33.5	17.0	1.5	E	☁	7
10	24.0	64	29.0	20.0	2.0	E	☁	8
11	29.0	54	30.0	17.5		N	☁	4
12	22.0	90	33.0	18.0	10.9	E	☁	10
13	23.0	90	23.0	19.0	2.2	N	☁	8
14	28.0	74	28.0	19.0	1.2	E	☁	6
15	29.0	60	30.0	17.0		E	☁	5
16	29.0	55	32.0	15.0		E	☁	5
17	23.0	90	32.0	21.0	1.3	N	☁	10
18	24.0	90	26.0	21.0	1.6	W	☁	8
19	26.0	73	26.5	20.0	5.8	E	☁	8
20	27.0	66	29.0	17.0		E	☁	
21	29.0	60	30.5	15.0		E	☁	
22	29.0	60	32.0	14.0		E	☁	
23	30.0	68	33.0	16.0		N	☁	
24	25.0	81	36.0	21.0		N	☁	8
25	27.0	73	27.0	23.0		S	☁	7
26	28.0	53	31.0	17.0		E	☁	5
27	24.0	90	32.0	17.0		S	☁	5
28	28.0	60	29.0	15.0	0.2	S	☁	5
29	28.0	53	31.0	15.0		E	☁	
30	31.0	62	33.0	14.0		S	☁	2
合計	810.0	68.8	91.5	26.0	16.2			1
平均	27.0	67	30.3	14.2				

ろう。名前だけじゃないんだよ。アメリカの話を旺んに喋って来たが、どうも僕の相槌が喰い違うんでよく考えてみたんだが、柗原さんの話は一九三〇年「まさか」

「信じられんだろう。六〇歳だからね、あの人は。僕も前に坐ってその有様を見せさへ信じ難かったからね。御当人は色々自適して時世が動き会社が自分を迎えるに來るまで太公望の心境だと意気軒昂なんだがね。帰り道に女房まで柗原さんは暖れてるんじゃないかって言うんだ」

「どうしたんだろう」

「酒の飲みすぎかな」

かなり飲んでいたのに、一瞬にして彼らは酔が醒めてしまった。柗原重役の社に在りし日を知る者にとつては青天に霹靂のような話を聞かされたからうだ。あの女が言い、みんな肯いた。激務から離れて突然隠棲したので、急激に老化したのだらうかと、一人が考え、言った。すると忽ち、停年退職した先輩たちの噂話があつたと持ち上った。退職金を持参金にして子会社の重役になりすましたもの、退職金でアパートを建てた者。子供が多

「さ、さからあんたたち、何喋ってるの。総起でもないね。ここには年寄りなんら一人も居ないのよ。ルミちゃん、みんな若返りの水を冷やで一杯ずつ搦んでる。私も飲むよ。私は若さで一杯の女なの。本当よ。ここんとこずつと退女人が言いかうね」

「おれも一カ月はかり童貞だ」

「なんだよ、だらしのない」

女将の機転と何かく飲み直すことにあつたが、一度鉢の中を風が吹き抜けた。あとでは心は索漠とするばかりだった。麻雀は四人で卓をかこみ、何時間顔を合せて賑やかに渡りあつていても人の噂話

「平均寿命が伸びた哀劇ですか」

「人口老令化の実態かな」

「スタンダードの向うで女将が鉄火な声をあげた」

「さ、さからあんたたち、何喋ってるの。総起でもないね。ここには年寄りなんら一人も居ないのよ。ルミちゃん、みんな若返りの水を冷やで一杯ずつ搦んでる。私も飲むよ。私は若さで一杯の女なの。本当よ。ここんとこずつと退女人が言いかうね」

「おれも一カ月はかり童貞だ」

「なんだよ、だらしのない」

女将の機転と何かく飲み直すことにあつたが、一度鉢の中を風が吹き抜けた。あとでは心は索漠とするばかりだった。麻雀は四人で卓をかこみ、何時間顔を合せて賑やかに渡りあつていても人の噂話

SUL AMERICA
CAPITALIZAÇÃO S.A

Resultado do sorteio do mês de 11/73
CUR-VNY-CTU-UVG-UUB-VMF
Foram sorteados os seguintes portadores,
Jorge Miyamura...Comb.CNY..5.000.00
Reiko Ogawa...Comb.CTU...2.500.00
O próximo sorteio será no dia 31/12/73

十一月当籤 幸者
5.000,00 宮村 ショルジ 様
2.000,00 小川 れい子 様
12月分抽籤は月末31日まで

代理人 アルゲルド パスカクリス

LANCHONETE E SORVETERIA
TIO PATINHA

開店おしらせ

ところ オ・クルス街(カマラの向)
元 鴨原商店のあと

ソルベツテリア

開店



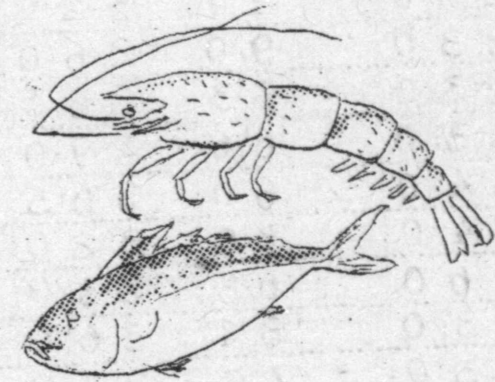
ランシヨネツテソルベツテリア

チオパチソニア

森川春六

が出ない。ツキが来ないと気が滅入ることも
もあるが、少くとも今夜のような話題に
陥ちこむ心配はない。
「麻雀を発明した民族は偉大な。僕は
幸倚から麻雀を習ったんだが、張さんと
いったがね、麻雀覚えとくと翁とらな
いと言ったよ。今から思えば頭を使うから
、鍛練になるってことだったんだ。習
ってるときはこっちが若かったから気が
つかなかったが、頭の体操になるよ。確
かにし
「碁も将棋も同じだろうし
うん、確かに勝負好きの男は呆けな
い。俺の爺さんは碁が好きだったせいか
呆けなかった。著者 有吉佐和子

お正月用の
ペーシェ



マグロ
ペスカーゴ
カツオ
イタカ
チクワ
カマボコ等
其他いろいろ

早目に注文下さい

本多

鮮魚店

メルカード内

電話 三四四番

金一封 御礼

故吉浦秀次郎、香典返しとして御禮下さい、有難く御礼
申し上げます

吉浦家様

グロリア区

金一封 御礼

故吉浦秀次郎御世界の御り右の御遺贈、厚く御礼申し上げます

吉浦家様

バストス福岡県人会

金一封 御礼

故御尊父吉浦秀次郎氏香典返しとして御受有難く御礼
申し上げます

吉浦家様

プログレッソ区

金一封 御礼

右は故吉浦秀次郎様御逝去の御香典返しありがとうございます
御礼申し上げます

吉浦家様

バストス草分會

CASA MAEYAMA

ナタール年末・お正月用のお買物は
毎度お引立に預って居ります

前山商店どうぞ！

内外 雑貨 一切

ベビー・夕類 一切

日本品・海苔・雑づめ類

御得意様には特別の値段で差上げます

どうぞ今年末は当店を御利用下さい

プレジデンテ ウアルガス街 二八一番地

内外雑貨卸小売

前山商店

電話 二十三番

CASA DA RAÇÃO LTAD

ニユーカッスル病発生に御注意

最近またニユーカッスル病が発生
しております。特に成鶏(古鶏)
に出ておりますから予防注射を
おこたぬよう、お互に気をつ
けましょう。

第一回目 四日より一週間目迄
必ず点眼法

第二回目 十四日より十八日目迄
飲水もしくは点眼法

第三回目 三十日目より三十五日目
飲水もしくは点眼法

第四回目 六十日目注射
もしくは点眼法

第五回目 百二十七日目 注射
もしくは点眼法

次は、四カ月毎に予防する。

カザダラソンピシダ

求む

養蚕歩合で働くお方

当方イヌビア駅より一キロのところ
面積五アルケール、桑園あり。
住宅出米上り、十が×七モデル。
バラコンは只今建築中です。
御希の方はどうぞ左記へお越して下さい
望

藤田農場

郵函二十七・電話〇三一番

最古の歴史を誇る

ウルトラガス

品質優良

新らしいフォコン月賦販売
中古品とのとり替え



REPRESENTANTE

梶田商店

電話 三二八番

お知らせ

皆様お待ちかねのインマのヒヨコ

{ インマ 白色 } が出始めました
 { インマーレッド 赤色 }

きついで日本の養鶏界で常に斯界の最高峰をゆくインマ鶏、それは四十年間の梳まざる研究の成果です。そのインマ鶏をブラジルに導入して早くも一年半、立派に繁殖して、皆様の御用命をお待ち申し上げて居ります。抗マレックに抜群で高産卵、高生存率と、すべての点で必ず皆様に御満足頂けるものと、確信を以ってお奨め致します。論より證據、どうぞ試験的に是非一度下記に御用命下さい。

グランジマ

水馬

敬白

GRANJA MIZUMA

Seção Glória 2

C. Postal; 175, Fone-35

BASTOS

C. P.

Avviso de Cinema Bastos

十二月十六日(月)九時半 十七日(月)八時
 東宝 傷だらけの人生 待田京介 北林早苗 若山富三郎
 天然色

十二月十八日(火) 十九日(水) 両夜とも八時
 渡世無情というけれど、親と知つても時限ノ新ったが悪いが、新ウメが罪かノ、
 二重ジラントの若大将 加山雄三 飯田蝶子
 酒井和歌子 佐野周二
 田中邦衛 有島一郎

十二月二十一日(金)八時 二十二日(土)九時半
 ●水河を大清水降ノ海と筆原を走るノ猛烈野郎の海外は誰に恋カスイングノ、
 危機百発 萩本欽一
 コント五〇号 坂上二郎
 倍美美津子 フランキー堺
 ビー 夕
 加藤 剛

十二月二十三日(日)九時半 二十四日(月)八時
 GOGO、たれ目かにも、ちんちん目か追う、爆笑大事件ノ、
 旅の重々 中川和奈
 高橋洋子 岸田今日子
 高橋悦子 三国連太郎
 横山リ工

十二月二十五日(火) 二十六日(水) 両夜とも八時
 家もすてたノ学校も捨てたノママ、私は旅行で知つたわ、愛とセックスと自由とを、
 味噌汁と女 池内淳子 田村正和 東野英治郎
 川崎敬三 田中邦衛
 佐藤 慶 市原悦子 北村和夫

十二月二十八日(金)八時 二十九日(土)九時半
 味噌汁の香、ほのかな香りこめる女の飲ぶと哀しみ、五所平之助監督 早岩弓枝作ノ、
 可愛い悪女 范文雀 龍田裕介
 生田悦子 宮川和子
 森次浩司 中凡忠雄

范文雀の唇が妖しく濡れて誘ふノセクシナール、ワンスペンヌスへの招待ノ、

御 礼

吉浦家葬儀の節、左の方々より
供華をいただきました。
厚く御礼を申し上げます。

パウルー南米本願寺 様

パウルーお茶の会 様

パウルー仏教会 様

パウルー同朋婦人会 様

吉浦家

各 位

(ヌキガキ)

「コ 権」

「おじいちゃん、金大中事件はね、外交
特権、主権、人権の問題なんだよ」
「わたちの年寄りに言わせりゃ、日本
のコケンにかかわることだね」
「そんな権利、大学じゃ教えてくれな
ったよ・スズンデル！」

「バンザイ娘」

若いOLたち。
「秋は、アセル季節ね」
「十一月まで、友だちの結婚式が、ヒ
組もあるのよ」
「駅や空港のお見送りも、あきたわ」
「うちの弟なんか「バンザイ娘」なんて
ひやかすんだもん。トサカにさちやうね

「不当表示」

「ブツテイクのさ、フアンション、アド
バイザになろうと思うの」
「つまり店員さんだね」
「あら、お客さんにアドバイスする、先
生々みたいな役目じゃないの？」
「店員募集じゃ人が集まらないから、ア
ドバイザっていうのよ」

御 礼

金は 一 封
右は故吉浦秀次郎様御通の節当会へ
御寄進下さいました。誠にありがた
く、厚く御礼申し上げます

吉浦家 様

御 礼

金は 一 封
故御母堂様御他界の御り、当会御寄
附くださいました。篤く御礼申し上げます
バストス老人倶楽部

荻原弘太郎 様

御 礼

金は 一 封
故吉浦秀次郎様の香典返しとして
当校へ御寄贈下さいました。有難
く、厚く御礼申し上げます

吉浦家 様
モブラール畑中学校

御 礼

金は 一 封
御舅父故吉浦秀次郎様の香典返し
として右の御寄進にあすかりま
した。厚く御礼を申し上げます
バストス連合仏教会

吉浦家 様

御 礼

金は 一 封
御厳父故吉浦秀次郎様御不幸の節
右の御寄進、誠にありがたく、厚
く御礼申し上げます
バストス連合仏教婦人会

吉浦家 様